

Woody News

No.341 (1.31.2013)

ロウバイ 1/28 事務所近くの民家の庭先で撮影

今月の話題

Country Factory



起きてビックリ!!、雪景色の元旦

冬らしい天気の新正月だったがみなさんはどうお過ごしになられたでしょうか。私たちもおかげさまで元気に新春を迎えた。以下は日記風“わが家の年末年始の過ごし方”。



べて越年、近くの寺に



●**嬉しい配達人 (31日)** ≈馬島の西村さんが「正月用に…」と今年も大きなハマチを持ってやってきた。彼の指導で魚の捌き方を習得した吉美が手ざわ良く解体、刺身、煮物…と正月の食卓はハマチが主役だった。嬉しい配達人に感謝。

●**雪の元旦 (1日)** ≈大晦日、紅白を視ながら充の家で年越しそばを食
除夜の鐘を撞きに行った充と泰樹が帰ってきたのを機に自宅に戻った。



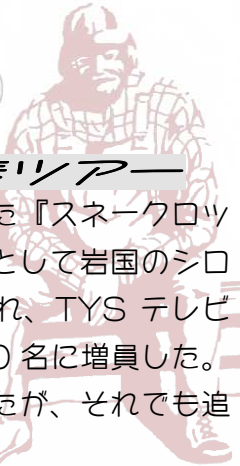
元旦、眠い目で窓の外を見ると一面の雪景色。このあたりは海岸近くで雪を見ることはほとんどないのでビックリ!!。充たちは千坊山からの初日の出に「寒かったあ〜」。



●**ログハウスは大賑わい (1日)** ≈隣町に住む娘一家と下関の次男一家がやってきた。ひと足遅れて帰省する孫娘は居なかったが、大人8名、子ども5名で充のログハウスは深夜まで大賑わいだった。

●**太鼓谷稲成に初詣 (2日)** ≈大勢の参拝客で賑わう神殿で一年の安泰を祈り、藤村山陰堂でお茶をいただいて道の駅津和野で夕食、21:00 に帰ってきた。こうして我が家の正月は終わった。毎年同じことの繰り返しだが、それが一番イイのだから…と思っている。





定員倍増！、スナークロック新春ツアー

瀬戸内のパワースポット“うましま”で巳年を祝いましょう…と企画した『スナークロック新春ツアー』（2月10日）は、山口新聞の元旦号に“巳年開運スポット”として岩国のシロヘビとともに紹介されたのをきっかけに、朝日、中国新聞などにも掲載され、TYS テレビ山口でも紹介されて15日には当初予定した定員50名を越え、急きよ80名に増員した。ところが4日後にはまたまたオーバー、とうとう倍の100名に増やしたが、それでも追いつかず、それ以降の方はキャンセル待ち…という大変な人気となった。



山口新聞 (1/1)

TYS テレビ山口 (1/11)

YAB 山口朝日放送 (1/24)

“ゆき姫なべ”、記念酒『ゆき姫伝説』…



これだけ多くの人に来ていただくのなら…と、準備する側も気合いが入る。予定外だった売店コーナーの設置も決まり、Facebook を通じておつきあいのある酒井酒造（岩国市）の大下さんに交渉して実現した五橋純米酒『ゆき姫伝説』を始め、たぶせ和ろうそく『ゆき姫ものがたり』、天然塩『ゆき姫塩』などの記念バージョンが登場、いちじくジャムや紫蘇じゅうす、甘酒、ひじきなど、田布施ならではの特産品が出揃った。

また、田布施でしか食べられない鍋を…と

『ゆき姫なべ』を開発、マスコミも呼んで24日に試食会を開催した。

ゆき姫なべ試食会 (内山昌晃さん撮影)

ゆき姫にちなんだ“白いなべ”は自然薯と豆腐をすりつぶした汁に魚介類を贅沢に使ったもので、じつに美味しく出来あがっていて、馬島育ちで味には特にうるさい西村さんを「ウマイッ！」と唸らせた絶品だ。食べた人の意見をもとにこれからさらに改良を加えていくことになった。

イベントの目玉『大願成就 海中寒行にチャレンジ』は町役場の若い職員たちの発案で開催するが、現在男性10名、女性2名が名乗りをあげ、たぶせ山城太鼓の子どもたちの演奏に合わせて海中パフォーマンスも考えているようだ。

こうして準備は着々と進んでいるが、海が一番荒れる季節なのであとは当日の天候だけが気かり。もし悪天候の場合は3月10日（日）に延期して開催することになっている。



出展しました

Country Factory



初の試み “ipad版フोटフレーム”

先月号で予告した“ハウジングメッセ岩国”の新春フェアは3日間ともおだやかな天候に恵まれた。住宅展示場での出展は普通のイベントのように人出が多くててんてこまい…ということはないが、住宅建築を計画中の方やストーブ目当てに来られる方など、中味の濃い来場者が多かった。



今回初めて試みたのは ipad を使った設置事例のスライドショー。これまでに設置した薪ストーブやペレットストーブの写真に商品名などを入れて充が作成、ペレットストーブの上に置いて見てもらう…



という “ipad 版フोटフレーム” は好評だった。

最終日の6日、周防大島町のお客さんが図面を持って会場を訪ねられた。

薪ストーブをご希望で、前もって機種も決めて来られ、打ち合わせが終わってから持ち込んでいたノート PC で充が設置図を作成した。

翌日には新築中の現場にお伺いして設計者と打ち合わせをおこない見積書を提出、屋根工事が始まる直前だったので煙道部材を手配、10日から煙突工事…と、充は忙しい年明けとなった。



出展します



2月はハウジングメッセ周南です

このところハウジングメッセからの出展依頼が続き、2月9～11日の連休はハウジングメッセ周南が“あったか住まいをご体感ください”と開催する『HOT 住まいるフェア』の会場で燃やすことになった。

子どもが喜ぶアヒルさんレース (11:00～・14:00～) やふわふわ、家族で楽しめる足湯コーナー、クレーププレゼント (各日先着 30 組)、それにカントリー工房のペレットストーブ・薪ストーブ体験会…と、あったかい企画が満載の3日間である。

出展は岩国会場と同じ THERMOROSSI ET1000 と Amesti の NORDIC 380 を燃やし、温かいコーヒーとスープでお待ちしている。『ハウジングメッセ周南』は下松中央線沿い (美里町3丁目)、サ・モール周南そば。暖まりにお出かけください。



ブルーベリー畑で自然体験の最終回

田川一郎さんのブルーベリー農園『花夢果夢』で“子どもたちに農と食体験を…”と始まった“ブルーベリー畑で自然体験”、今年度の最終回は2月3日(日)に開催される。(写真は昨年のもので)



農園作業の“肥料やり”でスタートし、樹木図鑑作家の林将之さんが“冬芽の話”、林山健二さんが“く

ん製づくり”を指導、自分たちで作ったシチューとご飯の昼食をとり、午後からは“ブルーベリー餅つき”を楽しむ。修了式では修了証を贈り年間スケジュールのすべてが終わる。

3年間続いたこの体験会は今期で終了となるが、延べ80名にもおよぶ子どもが受講、農業の大切さ、食の大切さを学んでくれたと思っている。



馬島の魅力を紹介するテレビ番組

昨年の“うましまタ日ツアー”に続いて“スネークロック新春ツアー”の開催、地域おこし協力隊の募集…と、このところ馬島がクローズアップされている。

24日にはYAB山口朝日放送の取材がおこなわれ、島の風景や空き家が目立つ集落、はね島のスネークロック、ゆき姫なべの試食会などが収録された。

“スネークロック新春ツアー”も取材され、2月14日(木)の『Jチャンやまぐち』(16:50~18:54)の中で放送の予定だ。



田布施のおはなし “紙芝居と原画展”

「まあ見においでえ!、待ちよるよ」と、田布施にまつわる民話全20作品の紙芝居上演と原画の展示会が開催される。これは田布施町郷土館友の会が「故郷に伝わる民話を後生に伝えよう…」と11年前から年2作のペースで制作に取り組み、昨年10月に20作目が完成。

2月9日(土)10:00~15:00、田布施町郷土館で開催、田布施の特産品が当たる“くじ引き”もおこなわれる。主催は田布施紙芝居の会。馬島伝説“ゆき姫物語”も上演される。お問い合わせは田布施町観光協会 ☎0820-52-5805。



賀状、ありがとうございました

今年も多くの方から賀状をいただきました。心を込めてていねいに書かれた絵や文字を見ると、このWoody Newsを賀状代わりにしている私は恥ずかしい思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願ひします。



今月もお読みいただき、ありがとうございました。(岡部 正彦)